

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-210834

(43)Date of publication of application : 02.08.1994

(51)Int.Cl.

B41F 33/00

B41F 30/00

B41N 10/00

(21)Application number : 05-189846

(71)Applicant : HEIDELBERGER DRUCKMAS AG

(22)Date of filing : 30.07.1993

(72)Inventor : FRACZEK STEPHEN P

(30)Priority

Priority number : 92 922196

Priority date : 30.07.1992

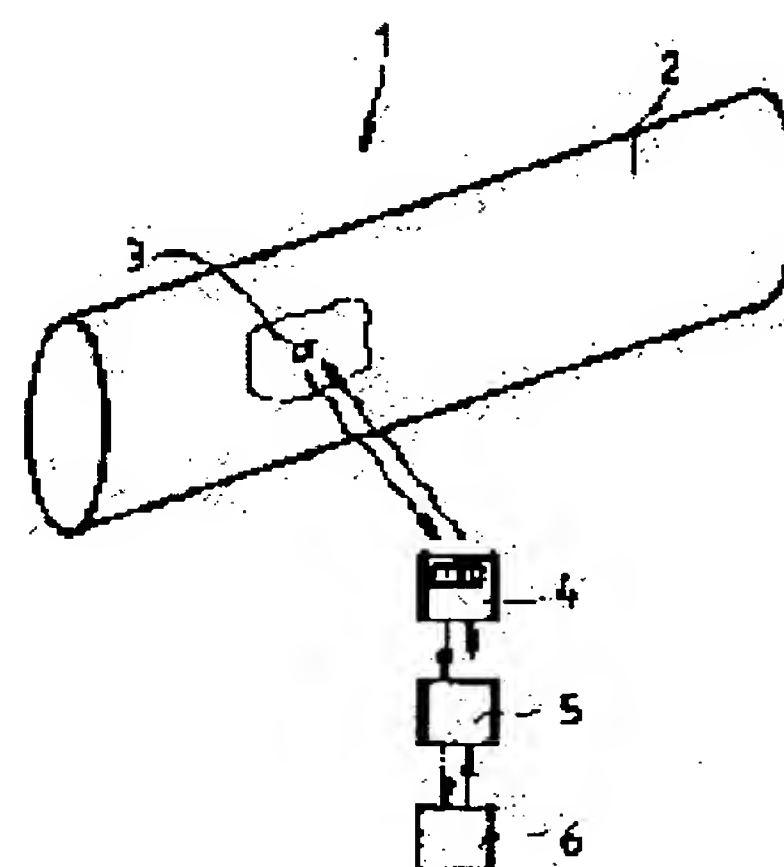
Priority country : US

(54) ROLLER SHELL IDENTIFICATION APPARATUS

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain an identification apparatus capable of uniquely identifying a roller shell.

CONSTITUTION: This roller shell identification apparatus has the microchip 3 incorporated in the flexible material roller shell of a printing machine. When a scanning device 4 excites the microchip 3, the microchip 3 sends out a signal.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

21.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3272492

[Date of registration]

25.01.2002

[Number of appeal against examiner's decision]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-210834

(43)公開日 平成6年(1994)8月2日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
B 4 1 F 33/00	S	7119-2C		
30/00	Z	7012-2C		
B 4 1 N 10/00		7124-2H		

審査請求 未請求 請求項の数7 OL (全3頁)

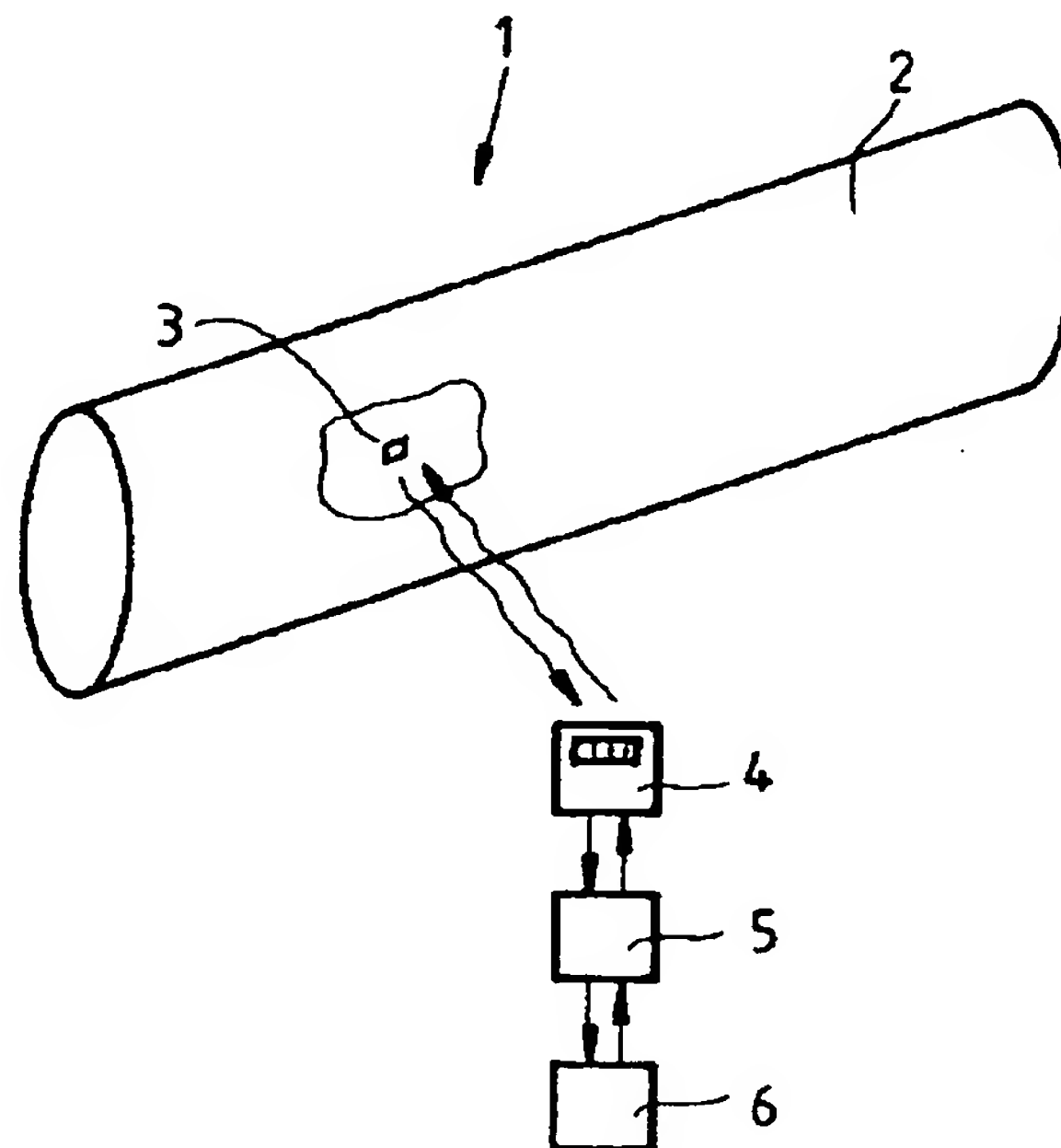
(21)出願番号	特願平5-189846	(71)出願人	390009232 ハイデルベルガー ドルツクマシーネン アクチエンゲゼルシャフト HEIDELBERGER DRUCKM ASCHINEN AKTIENGESE LLSCHAFT ドイツ連邦共和国 ハイデルベルグ クア フュルステン-アンラーゲ 52-60
(22)出願日	平成5年(1993)7月30日	(72)発明者	ステフェン ボール フラゼク アメリカ合衆国 ニュー ハンプシャー リー ホイールライト ドライヴ 14
(31)優先権主張番号	07/922196	(74)代理人	弁理士 矢野 敏雄 (外1名)
(32)優先日	1992年7月30日		
(33)優先権主張国	米国(US)		

(54)【発明の名称】 ローラシエルの識別装置

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 ローラシエルの一義的な識別を可能にする識別装置。

【構成】 ローラシエルの識別装置は、印刷機のフレキシブルな材料ローラシエル2の中に組み込まれたマイクロチップ3を有する。走査装置4がマイクロチップ3を励振すると、マイクロチップ3は信号を送出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 印刷機用のフレキシブルな材料のローラシエルの中へ組み込まれたマイクロチップを備え、さらに走査装置を備え、該走査装置はマイクロチップを励振して、該マイクロチップおよびローラシエルの一義的な識別を可能にする信号を送出させることを特徴とする、ローラシエルの識別装置。

【請求項2】 ローラシエルがゴムローラの被覆体である、請求項1記載の装置。

【請求項3】 ローラシエルがゴムブランケットである、請求項1記載の装置。

【請求項4】 マイクロチップが、 mm^2 の大きさのオーダにある寸法を有する請求項1記載の装置。

【請求項5】 マイクロチップにより送出される信号が、該マイクロチップの識別標識に関する情報を含む無線波である、請求項1記載の装置。

【請求項6】 識別標識がローラシエルに配属されており、識別装置が、走査装置へ接続されているコンピュータを含み、さらに該コンピュータへ接続された記憶装置を含み、該記憶装置は、識別標識を入力してから使用できるローラシエルに関する情報を記憶する、請求項5記載の装置。

【請求項7】 フレキシブルな材料から成るローラシエルを有するローラを備えた印刷機に用いられる識別装置において、該ローラシエルの中に組み込まれているマイクロチップを備え、さらに走査装置を備え、該走査装置はマイクロチップを励振して、マイクロチップおよびローラシエルの一義的な識別を可能にする信号を送出させることを特徴とする、ローラシエルの識別装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、フレキシブルな材料から製造されさらに印刷機において使用されるローラシエルの識別装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ゴムブランケットのまたはゴムローラの在庫の監視または管理は、特に大きい印刷会社においては問題を与える。たしかにゴムブランケットまたはゴムローラは浮き彫りされた識別標識を支持する。しかしゴムブランケットまたはゴムローラが印刷工程に使用されると、使用および摩耗に起因して、すぐに識別標識が判読が困難になる。各々の場合にゴムブランケットのまたはゴムローラを選択は、個々の印刷パラメータに、例えば色の印刷パラメータに適合するため、ゴムブランケットまたはゴムローラを選択は常に明確に行なえるように、保証される必要がある。しかし、このことは従来技術においては常に可能であるとは限らない。

【0003】

【発明の解決すべき課題】本発明の課題は、この種の従来装置の欠点を克服した、フレキシブルなローラシエル

の識別装置を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】前述のおよび他の目的に関連づけて、本発明によれば、印刷機用のフレキシブルな材料のローラシエルの中へ組み込まれたマイクロチップを備え、さらに走査装置を備え、該走査装置はマイクロチップを励振とて、該マイクロチップおよびローラシエルの一義的な識別を可能にする信号を送出させる。

【0005】本発明の構成によれば、マイクロチップがゴムローラの中に組み込まれており、さらにローラシエルがゴムローラの被覆体である。

【0006】本発明の構成によれば、マイクロチップがゴムブランケットの中へ組み込まれており、このゴムブランケットは印刷機のゴム圧胴の上に取り付けられており、さらにローラシエルがゴムブランケットである。

【0007】ゴムブランケットまたはゴムローラの在庫は、マイクロチップの、明瞭に識別を可能とする標識の使用により、問題なく監視できる。さらに、ゴムブランケットが例えば異なる印刷機上で複数回も使用される時は、ゴムブランケットまたはゴムローラの寿命に関する情報が与えられる。さらにゴムブランケットのまたはゴムローラの適用の最適の範囲が、明瞭に識別を可能とする標識の使用により、種々の印刷パラメータに依存して定められる。

【0008】本発明のさらなる特徴的構成によれば、マイクロチップは、 mm^2 の大きさのオーダの寸法、拡がりまたは範囲（規模）を有する。

【0009】本発明の構成によれば識別標識はローラシエルに配属されており、さらに走査装置に接続されたコンピュータが設けられており、このコンピュータに記憶装置が接続されている。この記憶装置は、識別記号の入力後に用いられるローラシエルに関する情報を記憶する。

【0010】そのため個々のデータは例えばゴムブランケットまたはゴムローラの寿命、またはそれらの所定の印刷インクと共に用いられる用途が、記憶装置の中に記憶される。信号が、マイクロチップの明瞭な識別を可能にする走査装置によりトリガされる。例えば各々のマイクロチップはそれに割り当てられた識別標識または番号を有する。これらは記憶装置へ配属されているディスプレイ装置で読み取れる。ゴムブランケットまたはゴムローラに関する付加的な情報は、この番号の下に記憶装置の中に記憶できる。この情報はいつでも呼び出せる。

【0011】本発明の構成によれば、マイクロチップにより送出または送信される信号は無線波である。この無線波は、これらが識別標識に関する情報を明瞭に搬送するように、変調される。

【0012】本発明を特徴づける他の特徴が従属形式の請求項に示されている。

【0013】図示されて説明されている本発明はフレキ

シブルなローラシエルの識別装置であるが、本発明は記載された詳細に限定されるものではない。何故ならばここでは修正および構成の変化は、本発明の主旨から逸脱することなく、かつ請求の範囲の要旨において可能だからである。

【0014】しかも本発明の構成および動作法は、その付加的な目的および利点と共に、添付の図面と関連づけて以下の実施例を読むと最も良く理解される。

【0015】

【実施例】図1に示されている本発明による装置は、マイクロチップ3と走査装置4から構成されている。マイクロチップ3は、ローラ1のローラシエル2の中へ組み込まれている。このローラ1は、例えば図示されていない印刷機のインキユニットの中に配置されているゴムローラである。別の構成によれば、ローラシエル2はゴムブランケットから構成できる。オフセット印刷機においては、このブランケットはゴムブランケットシリンダ上に取付けられ、プレートシリンダから印刷製品への印刷像の転写のために用いられる。

【0016】例えばゴムブランケットの中にマイクロチップ3を設ける場合は、このマイクロプロセッサ3の測定は mm^2 の寸法で行なわれるように、設計構成される。マイクロチップ3の寸法は小さいため、ゴムブランケットの表面状態はほとんど影響を受けない。

*

*【0017】マイクロチップ3が走査装置4の信号により励振されると、マイクロチップは特性信号を送出する。この特性信号はマイクロチップ3の、それと共にゴムブランケットまたはゴムローラの一義的な識別を可能とする。

【0018】これらの信号は、比較的長い距離にわたり妨害を受けることなく識別を可能にする無線信号の範囲に設けると有利である。

【0019】走査装置4は、直接コンピュータ5へ接続されるように、構成できる。このコンピュータ5は所属の記憶装置6を有し、この中に個々のゴムブランケットまたはゴムローラに関する重要な情報が記憶される。この情報は、マイクロチップの信号から受信される、各場合の識別標識に依存して記憶され、さらに印刷者によりいつでも呼び出せる。情報内容に関する可能な補正または追加は何の問題なくなされる。

【図面の簡単な説明】

【図1】回路図と共に示した本発明による装置の簡略化された斜視図である。

【符号の説明】

1 ローラ、 2 ローラシエル、 3 マイクロチップ、 4 走査装置、 5 コンピュータ、 6 記憶装置

【図1】

